

「防災教育テキスト」を活用した防災教育

学 校 名	長門市立向陽小学校	実施時間	5年理科
--------------	-----------	-------------	------

1 ねらい

- 気象情報を活用して、台風の動きと天気の変化について考え、自分の考えを表現することができるようにする。
- 「防災教育テキスト」を活用し、台風のときの天気の変化と降雨等の関係を理解させる。

2 展開

学習内容・活動	教師の働きかけ	指導上の留意点
<p>1 過去に長門市周辺を通過した台風について調べる。</p> <p>2 防災のDVDを見て、防災の備えについて理解を深める。</p> <p>3 「防災教育テキスト」の台風・高潮の頁を読み、気付いたことを発表する。</p> <p>4 「防災教育テキスト」に記載した、避難場所と避難するときを持ち出す物を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所 ・非常持ち出し品 <p>5 本時を振り返り、感想を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に山口県を通過した台風の資料を示す。 (下関地方気象台Webページ情報等) ・防災の備えについて大切なことを板書する。 ・台風の大きさと強さを示す用語を説明する。 ・台風による被害には、強風、大雨、高潮があることを押さえる。 ・児童から出た意見をまとめ、板書する。 ・避難場所は、家の人と話し合っ、2か所決めておくことが大切であることを押さえる。 ・自分の命を守りぬくために最善をつくすことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・台風が長門市の西側を通過した時に被害が大きかったことに気付かせる。 ・雷が鳴った場合や大雨が降った場合の防災対応能力を高めるために、自分のこととして振り返りをさせる。 ・台風が近付いてきた時は、できるだけ外に出ないことをしっかりと意識させる。 ・避難場所と非常持ち出し品を何にするかは、あらかじめ家の人と話し合っておく。 ・参観した保護者にも、危機管理の意識を高めてもらうようお願いする。



【非常持ち出し品の準備・点検について】
避難場所まで最低限必要な物の例です。準備してあるか家族でチェックしてみましょう。

持ち出し品	確認	持ち出し品	確認	持ち出し品	確認	持ち出し品	確認
水		非常食		お薬		通帳	
印かん		懐中電灯		箱		巻替え	
ヘルメット・防災頭巾		ラジオ		電池		ライター・マッチ	
懐中電灯							

3 考察

理科の学習で台風について学習したが、日本全体のことが書かれてあり、他人事のように捉えている児童が見受けられた。そこで、山口県教育委員会が発行した「『防災教育テキスト』～自然災害から自分の命を守るために～」を活用したところ、児童が自分のこととして、台風等自然災害の恐さを知り、防災の大切さを学ぶことができた。また、本テキストのワークシートを活用することにより、家族ぐるみの防災学習が実施でき、家庭への防災教育の普及も図ることができた。